

第3期函館市活性化総合戦略（素案）に係る修正比較

	ページ	修正後	修正前																								
①	2	<p>(1) ジェンダーギャップの解消</p> <p>本市の人口減少の主な要因のひとつに「若年層をはじめとする転出超過」が挙げられますが、<u>近年では特に20～29歳の女性の市外への転出超過が拡大傾向にあり</u>、若年層の女性の減少が少子化の進行に一層拍車をかけていると考えられます。</p> <p><u>若者が</u>本市を離れる要因を分析し、選ばれるまちになるための対策を講じることが重要であることから、職場や地域、学校、家庭などあらゆる場面において、全ての人が性別にかかわらず個人として尊重され、その特性や能力を生かして活躍することができるよう、あらゆる分野におけるジェンダーギャップの解消をめざします。</p>	<p>(1) ジェンダーギャップの解消</p> <p>本市の人口減少の主な要因のひとつに「若年層をはじめとする転出超過」が挙げられますが、<u>_____特に20～29歳の女性の市外への転出超過が大きく</u>、若年層の女性の減少が少子化の進行に一層拍車をかけていると考えられます。</p> <p><u>若い女性が</u>本市を離れる要因を分析し、選ばれるまちになるための対策を講じることが重要であることから、職場や地域、学校、家庭などあらゆる場面において、全ての人が性別にかかわらず個人として尊重され、その特性や能力を生かして活躍することができるよう、あらゆる分野におけるジェンダーギャップの解消をめざします。</p>																								
②	4	<p>1 第2期総合戦略の評価について</p> <p>また、数値目標として掲げた合計特殊出生率は、結婚・出産に対する若者の意識の変化や価値観の多様化などにより全国的に_____低下している中、本市においても令和5(2023)年実績で0.99となっており、同じく数値目標として掲げた20歳代の若者の市外への転出超過数についても令和元(2019)年から令和5(2023)年の実績で2,268人と、いずれも目標の達成は困難と見込まれることから、今後においてはその要因を分析したうえで、事業の選択と集中を行い、より効果的に取組を進めていく必要があります。</p>	<p>1 第2期総合戦略の評価について</p> <p>また、数値目標として掲げた合計特殊出生率は、結婚・出産に対する若者の意識の変化や価値観の多様化などにより全国的に<u>出生率が</u>低下している中、本市においても令和5(2023)年実績で0.99となっており、同じく数値目標として掲げた20歳代の若者の市外への転出超過数についても令和元(2019)年から令和5(2023)年の実績で2,268人と、いずれも目標の達成は困難と見込まれることから、今後においてはその要因を分析したうえで、事業の選択と集中を行い、より効果的に取組を進めていく必要があります。</p>																								
③	4	<p>《第2期総合戦略の進捗状況》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>合計特殊出生率⁵</td> <td>1.23 (平成30年)</td> <td>1.27 (令和6年)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)</td> <td>2,205人 (平成26～30年累計)</td> <td>2,095人 (令和2～6年累計)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	数値目標	基準値	目標値	1	合計特殊出生率 ⁵	1.23 (平成30年)	1.27 (令和6年)	2	20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)	2,205人 (平成26～30年累計)	2,095人 (令和2～6年累計)	<p>《第2期総合戦略の進捗状況》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>合計特殊出生率⁵</td> <td>1.23 H30年</td> <td>1.27 R6年</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)</td> <td>2,205人 H26～30累計</td> <td>2,095人 R2～6累計</td> </tr> </tbody> </table>	No.	数値目標	基準値	目標値	1	合計特殊出生率 ⁵	1.23 H30年	1.27 R6年	2	20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)	2,205人 H26～30累計	2,095人 R2～6累計
No.	数値目標	基準値	目標値																								
1	合計特殊出生率 ⁵	1.23 (平成30年)	1.27 (令和6年)																								
2	20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)	2,205人 (平成26～30年累計)	2,095人 (令和2～6年累計)																								
No.	数値目標	基準値	目標値																								
1	合計特殊出生率 ⁵	1.23 H30年	1.27 R6年																								
2	20～29歳の市外への転出超過数(5か年累計)	2,205人 H26～30累計	2,095人 R2～6累計																								

	ページ	修正後	修正前																				
④	11	<p>①結婚・出産の希望をかなえる支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>合計特殊出生率（年齢別出生率）</td> <td>0.99 (令和5年) <small>(参考)</small> 全国 1.20 北海道 1.06</td> <td>5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)</td> <td>保健福祉部／ 保健所事業概要</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	2	合計特殊出生率（年齢別出生率）	0.99 (令和5年) <small>(参考)</small> 全国 1.20 北海道 1.06	5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)	保健福祉部／ 保健所事業概要	<p>①結婚・出産の希望をかなえる支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>合計特殊出生率（年齢別出生率）</td> <td>0.99 (令和5年)</td> <td>5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)</td> <td>保健福祉部／ 保健所事業概要</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	2	合計特殊出生率（年齢別出生率）	0.99 (令和5年)	5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)	保健福祉部／ 保健所事業概要
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
2	合計特殊出生率（年齢別出生率）	0.99 (令和5年) <small>(参考)</small> 全国 1.20 北海道 1.06	5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)	保健福祉部／ 保健所事業概要																			
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
2	合計特殊出生率（年齢別出生率）	0.99 (令和5年)	5歳区分ごとにおいて増加 (令和11年)	保健福祉部／ 保健所事業概要																			
⑤	12	<p>②切れ目のない子育て支援</p> <p>妊娠・出産・子育ての各段階で抱えるさまざまな悩みに寄り添い、解決へつなげる場やサービスの提供など、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を行うとともに、様々な媒体を活用した情報発信を強化します。</p>	<p>②切れ目のない子育て支援</p> <p>妊娠・出産・子育ての各段階で抱えるさまざまな悩みに寄り添い、解決へつなげる場やサービスの提供など、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を行います。</p>																				
⑥	13	<p>⑤子どもたちの学びを支える教育環境の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>全国学力・学習状況調査の正答率</td> <td>小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)</td> <td>小・中学生 ともに 全国平均以上 (令和11年度)</td> <td>教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	10	全国学力・学習状況調査の正答率	小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)	小・中学生 ともに 全国平均以上 (令和11年度)	教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査	<p>⑤子どもたちの学びを支える教育環境の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>全国学力・学習状況調査の正答率</td> <td>小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)</td> <td>小・中学生 ともに全道平均 以上をめざす (令和11年度)</td> <td>教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	10	全国学力・学習状況調査の正答率	小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)	小・中学生 ともに全道平均 以上をめざす (令和11年度)	教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
10	全国学力・学習状況調査の正答率	小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)	小・中学生 ともに 全国平均以上 (令和11年度)	教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査																			
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
10	全国学力・学習状況調査の正答率	小学校6年生 国語 66% 算数 58% 中学校3年生 国語 54% 算数 47% (令和6年度)	小・中学生 ともに全道平均 以上をめざす (令和11年度)	教育委員会／ 文部科学省全国 学力・学習状況 調査																			
⑦	14	<p>⑥地域のニーズに対応した人材育成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)</td> <td>77.1% (令和5年度) <small>(参考)</small> 全国 81.0% 北海道 77.3%</td> <td>増加 (令和11年度)</td> <td>教育委員会／ 学校基本調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	11	大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)	77.1% (令和5年度) <small>(参考)</small> 全国 81.0% 北海道 77.3%	増加 (令和11年度)	教育委員会／ 学校基本調査	<p>⑥地域のニーズに対応した人材育成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)</td> <td>77.1% (令和5年度)</td> <td>増加 (令和11年度)</td> <td>教育委員会／ 学校基本調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	11	大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)	77.1% (令和5年度)	増加 (令和11年度)	教育委員会／ 学校基本調査
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
11	大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)	77.1% (令和5年度) <small>(参考)</small> 全国 81.0% 北海道 77.3%	増加 (令和11年度)	教育委員会／ 学校基本調査																			
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
11	大学等進学率 (短大、専修学校等を含む)	77.1% (令和5年度)	増加 (令和11年度)	教育委員会／ 学校基本調査																			

	ページ	修正後	修正前																				
⑧	18	<p>①インクルージョンの実現のための取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>固定的な性別役割分担を肯定する人の割合</td> <td>10.4% (令和3年度)</td> <td>減少 (令和8年度)</td> <td>市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	1	固定的な性別役割分担を肯定する人の割合	10.4% (令和3年度)	減少 (令和8年度)	市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査	<p>①インクルージョンの実現のための取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>固定的な性別役割分担を肯定する人の割合</td> <td>10.4% (令和3年度)</td> <td>増加 (令和8年度)</td> <td>市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	1	固定的な性別役割分担を肯定する人の割合	10.4% (令和3年度)	増加 (令和8年度)	市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
1	固定的な性別役割分担を肯定する人の割合	10.4% (令和3年度)	減少 (令和8年度)	市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査																			
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
1	固定的な性別役割分担を肯定する人の割合	10.4% (令和3年度)	増加 (令和8年度)	市民部/男女共同参画に関する市民・事業者意識調査																			
⑨	21 22	<p>①人が集い賑わう場の創出 ②観光の価値を高める取り組みの強化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数 (閑散期/繁忙期)</td> <td>0.58 (平成29~ 令和元年度平均)</td> <td>0.63 (令和10年度)</td> <td>観光部/ 観光基本計画</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通	現状値	目標値	備考	2	繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数 (閑散期/繁忙期)	0.58 (平成29~ 令和元年度平均)	0.63 (令和10年度)	観光部/ 観光基本計画	<p>①人が集い賑わう場の創出 ②観光の価値を高める取り組みの強化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数</td> <td>0.58 (平成29~ 令和元年度平均)</td> <td>0.63 (令和10年度)</td> <td>観光部/ 観光基本計画</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通	現状値	目標値	備考	2	繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数	0.58 (平成29~ 令和元年度平均)	0.63 (令和10年度)	観光部/ 観光基本計画
No.	K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通	現状値	目標値	備考																			
2	繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数 (閑散期/繁忙期)	0.58 (平成29~ 令和元年度平均)	0.63 (令和10年度)	観光部/ 観光基本計画																			
No.	K P I (重要業績評価指標) ※ ①, ②共通	現状値	目標値	備考																			
2	繁忙期と閑散期の入込客数の平準化指数	0.58 (平成29~ 令和元年度平均)	0.63 (令和10年度)	観光部/ 観光基本計画																			
⑩	23	<p>④移住・定住を後押しする取組の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>移住相談等を通じて____ 移住した世帯数</td> <td>18世帯 (令和5年度)</td> <td>30世帯 (令和11年度)</td> <td>企画部</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	7	移住相談等を通じて____ 移住した世帯数	18世帯 (令和5年度)	30世帯 (令和11年度)	企画部	<p>④移住・定住を後押しする取組の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>K P I (重要業績評価指標)</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>移住相談等を通じて実際 に移住に至った世帯数</td> <td>18世帯 (令和5年度)</td> <td>増加 (令和11年度)</td> <td>企画部</td> </tr> </tbody> </table>	No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考	7	移住相談等を通じて 実際 に移住に至った世帯数	18世帯 (令和5年度)	増加 (令和11年度)	企画部
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
7	移住相談等を通じて____ 移住した世帯数	18世帯 (令和5年度)	30世帯 (令和11年度)	企画部																			
No.	K P I (重要業績評価指標)	現状値	目標値	備考																			
7	移住相談等を通じて 実際 に移住に至った世帯数	18世帯 (令和5年度)	増加 (令和11年度)	企画部																			